

プレスリリース

2012.06.26

西友「2012 年度社会貢献活動助成プログラム」の助成先を 発表

合同会社西友は、国内で社会貢献活動に取り組む団体の事業に対して総額 2,000 万円の助成を行う社会貢献活動助成プログラムを実施しています。この度、2012 年度の助成先に東北沿岸被災地の産後母子支援プログラム「東北こそだてプロジェクト」を共同で開始する「一般社団法人ジェスパー：本部 東京都中野区」（以下、ジェスパー）と「一般社団法人福島県助産師会：本部 福島県福島市」（以下、福島県助産師会）、および、ひとり親世帯向け「脱貧困キャリアアップ・プログラム」を実施する「特定非営利活動法人フローレンス：本部 東京都千代田区」（以下、フローレンス）が決定いたしましたのでお知らせいたします。

この助成プログラムは、ウォルマート・ストアーズ・インク(以下、ウォルマート)が、世界的に展開しているサステナビリティ活動および社会貢献活動の一環として、「女性の経済的自立支援」「食品寄付活動」「環境活動」「その他の活動」の 4 つの分野のいずれかに該当する活動に対し、西友が助成先を公募し、助成金を拠出するというものです。

決定に当たっては、まず、昨年 12 月に公募を開始し、今年 3 月 15 日の締め切りまでに 249 の団体からの応募がありました。西友社内に設置された社会貢献委員会の厳正な審査により、2012 年度の助成先として、今回、この西友の助成を機に、東北 3 県の沿岸被災地の産後 1 年以内の母子に対する、無料での「育児相談会」と「戸別訪問」活動の立ち上げを共同で計画しているジェスパーと福島県助産師会、これまでのひとり親世帯向け病児保育サービスへの助成に加え、新しく、ひとり親世帯向け「キャリアアップ」事業を展開するフローレンスが決定いたしました。

2012 年度の助成先に決定した団体からは、今回の助成に関して以下のようなコメントが寄せられています。

「被災沿岸部の産後母子支援活動に対し支援をいただき深く感謝申し上げます。災害時は妊産婦に対する支援が後回しになりがちであることから、今なお不安や鬱症状に苦しむ母親が数多く見受けられます。この状況を改善するためには、母親達が悩みを打ち明け、育児に必要な情報を得られる機会を提供することが重要だと考え、今回、西友の支援のもと、延べ 3,000 組以上を対象として福島県助産師会とともに無料育児相談会と戸別訪問を実施いたします。被災地への長期支援のモデルケースとして成功させたいと考えています。」

ジェスパー 代表理事 宗 祥子

「助成に大変感謝しています。貧困状態にあるひとり親世帯では、子どもたちに教育投資が行えず、子どもたちの学力も上がらないことで、就労に悪影響が及ぼされる『貧困の連鎖』が存在します。その連鎖を断ち切るためには、まず、親がしっかりとしたキャリアを積み、安定した収入を得、経済的に自立することが不可欠です。そのために、こういった支援が最も効果的なのかを調査し、今回、西友の助成の基にモデル事業を立ち上げる機会に恵まれました。企業と NPO の協働によって、社会問題が解決できることを実証したいと思います。」

フローレンス 代表理事 駒崎 弘樹

なお、西友では上記団体に加え、同プログラムの 2011 年度の助成先である「特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン」、「公益財団法人オイスカ」に対して、中・長期的なパートナーシップを構築し、さらなる支援を実施するため、7 月 1 日（日）より全国の西友店舗にて店頭募金を開始する予定です。

西友は「Saving people money so they can live better.（お客様に低価格で価値あるお買物の機会を提供し、より豊かな生活を現する）」というミッションのもと、親会社のウォルマートと共にサステナビリティ活動や社会貢献活動に幅広く取り組んでいます。詳細については、西友ホームページ内「サステナビリティ・ページ」をご覧ください。

<http://www.seiyu.co.jp/company/sustainability/>

以上